

2020年

5月号

農林水産省  
北海道農政事務所  
北見地域拠点

# ず～むあっぷ☆ オホーツク

## 国内初！ホタテ貝殻から**粒状肥料**（土壌改良材）を製造！

株式会社 常呂町産業振興公社（北見市常呂町）

株式会社常呂町産業振興公社のある北見市常呂町はホタテを主体とした水産業が盛んな地域です。しかし、大量に排出されるホタテ貝殻の処理が課題となっていました。

そんな中、同公社は1979年に設立され、産業廃棄物となっていたホタテ貝殻を使用した粉末状肥料の製造を行ってきました。

一方で生産者からは、「粉末のため散布の際に飛散することから、粒状にしてほしい」など、作業効率が上がる粒状化を求める声が多く、それらの声を受けて2017年から、北見工業大学と共に粒状化へ向けた共同研究を開始しました。



【粒状肥料を製造する新工場】

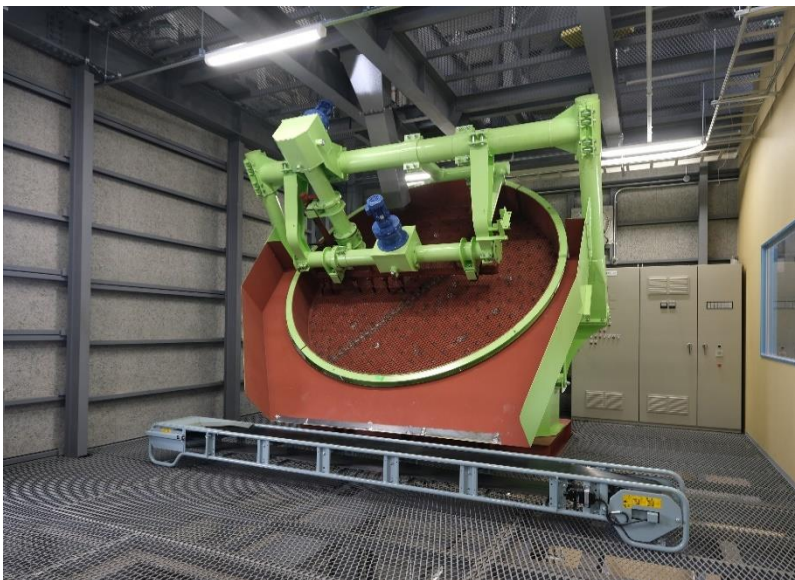
既存のホタテ貝殻粉末では形状が均一ではなく、そのままの状態では粒状化が困難でした。そこで、粒状化が可能な粉末の大きさを調べるため何度も試験を繰り返し、既存のホタテ貝殻粉末より細かく粉砕、接着剤を使用してパン型造粒機で粒状化する技術を開発し、ホタテ貝殻を用いた粒状肥料の製造が可能となりました。

なお、粒状化するための接着剤として、北見市常呂町産のビートが持ち込まれる日本甜菜製糖美幌製糖所（美幌町）から出る廃糖蜜が使用されています。

2020年3月には粒状肥料専用工場が完成し、4月から試験操業も始まっています。

今後は、ニーズに併せてこれまでの粉末状肥料の製造も続けながら、粒状肥料の生産量を増やし、秋頃には生産者への供給が計画されています。

ホタテ貝殻や廃糖蜜という北見市常呂町の原料から作られた『**オール常呂の粒状肥料**』で畑の土作りに貢献し、生産コストの削減等により農家所得の向上を目指しています。



【パン型造粒機】

【画像提供：常呂町産業振興公社】



# 食料・農業・農村基本計画

令和2年3月31日に新たな食料・農業・農村基本計画が閣議決定されました。

## 基本的な方針

「産業政策」と「地域政策」を車の両輪として推進し、将来にわたって国民生活に不可欠な食料を安定的に供給し、**食料自給率の向上**と**食料安全保障を確立**

### 目標・展望等

#### 食料自給率の目標

【カロリーベース】 37% (2018) → **45%** (2030) 【生産額ベース】 66% (2018) → **75%** (2030)  
(食料安全保障の状況を評価) (経済活動の状況を評価)

【飼料自給率】 25% (2018) → 34% (2030)

【食料国産率】 飼料自給率を反映せず、**国内生産の状況を評価するため新たに設定**

<カロリーベース> 46%(2018) → 53%(2030) <生産額ベース> 69%(2018) → 79% (2030)

<生産努力目標>

課題が解決された場合に、主要品目ごとに2030年における実現可能な国内の農業生産の水準を設定

#### 食料自給力指標（食料の潜在生産能力）

農地面積に加え、**労働力も考慮**した指標を提示。また、新たに**2030年の見直し**も提示

#### 【基本計画と併せて策定】

##### 農地の見直しと確保

(2019) (2030)  
439.7万ha → 見直し：414万ha  
すう勢：392万ha  
※見直しをしない場合

##### 農業構造の展望

(2015) (2030)  
208万人 → 展望：140万人  
すう勢：131万人  
※これまでの結果が踏襲された場合

##### 農業経営の展望

- 37の経営モデルを提示
- 小規模でも安定的な経営を行い農地維持等に寄与する事例を提示

## 講ずべき施策

### 1. 食料の安定供給の確保

- **新たな価値の創出**による需要の開拓
- **グローバルマーケットの戦略的な開拓**  
(農林水産物・食品の輸出額：5兆円を目指す(2030))
- **消費者と食・農とのつながりの深化**
- **食品の安全確保と消費者の信頼の確保**
- 食料供給の**リスクを見据えた総合的な食料安全保障の確立**
- TPP等**新たな国際環境への対応**、今後の国際交渉への戦略的な対応

### 3. 農村の振興

- 地域資源を活用した**所得と雇用機会の確保**  
(複合経営、地域資源の高付加価値化、地域経済循環 等)
- 中山間地域等をはじめとする**農村に人が住み続けるための条件整備**  
(ビジョンづくり、多面的機能の発揮、鳥獣被害対策 等)
- 農村を支える**新たな動きや活力の創出**  
(地域運営組織、関係人口、半農半X等のライフスタイル 等)
- 上記施策を継続的に進めるための**関係府省で連携した仕組みづくり**

6. 食と農に関する国民運動の展開等を通じた国民的合意の形成

### 2. 農業の持続的な発展

- **担い手の育成・確保**  
(法人化の加速化、経営基盤の強化、経営継承、新規就農と定着促進 等)
- **多様な人材や主体の活躍**  
(中小・家族経営、農業支援サービス 等)
- **農地集積・集約化と農地の確保**  
(人・農地プランの実質化、農地中間管理機構のフル稼働 等)
- **農業経営の安定化**  
(収入保険制度や経営所得安定対策等の着実な推進 等)
- **農業生産基盤整備**  
(農業の成長産業化と国土強靱化に向けた基盤整備)
- 需要構造等の変化に対応した**生産基盤の強化と流通・加工構造の合理化**  
(品目別対策、農作業等安全対策の展開 等)
- **農業生産・流通現場のイノベーションの促進**  
(スマート農業の加速化、デジタル技術の活用推進 等)
- **環境政策の推進**  
(気候変動への対応、有機農業の推進、自然循環機能の維持増進 等)

### 4. 東日本大震災からの復旧・復興と大規模自然災害への対応

### 5. 団体に関する施策

7. 新型コロナウイルス感染症をはじめとする新たな感染症への対応

《 詳しくはこちらの農林水産省ホームページをご覧ください。 》

↳ [http://www.maff.go.jp/j/keikaku/k\\_aratana/index.html](http://www.maff.go.jp/j/keikaku/k_aratana/index.html)

— 令和2年度農林水産関係補正予算の概要が公表されています —

下記の農林水産省ホームページをご覧ください。

↳ <https://www.maff.go.jp/j/budget/r2hosei.html>

## 編集後記

新型コロナウイルス感染症による社会的不安の報道が多い最近ですが、いよいよ本格的な農作業シーズンとなりました。農作業事故には十分気をつけて、豊穡の秋を迎えられますように。(く)

編集：農林水産省北海道農政事務所 北見地域拠点

〒090-0018 北見市青葉町6-8 北見地方合同庁舎

TEL 0157-23-4171 FAX 0157-23-5358

北見地域拠点HP <https://www.maff.go.jp/hokkaido/kitami/index.html>